

松下幸之助記念財団 研究助成
研究報告

【氏名】 奥村 茂輝

【所属】(助成決定時)

公益財団法人 大阪府文化財センター

【研究題目】

古代東アジアにおける戦乱期前後の物質文化交流の研究
—渤海京城と平城京から出土する考古資料を中心に—

【研究の目的】

本研究の主目的は、以下の二点である。

一点目は、出土瓦を中心とした考古資料から、安史の乱前後(8世紀中頃から後半)における日本と渤海と唐の交渉について、東アジア史の胎動のなかでとらえることである。当該期における各国間の交渉を記した文献史料は、日本や中国の国書(続日本紀、唐書、旧唐書など)中の記事に限られる。いっぽう考古資料については、文献史料の不足を補って余だけの蓄積がなされており、従前ではみられなかった多角的な古代東アジア交渉史をあきらかにすることが可能である。

二点目は、民族主義的な立場を排した視点で、かつ考古資料という客観性の高い資料を用いることによって、客観的な渤海史研究をおこなうことである。現状の渤海史研究は国際的な様相を呈するものの、中国・韓国・北朝鮮の各国における歴史認識の相違から、個々の民族主義的な研究姿勢に陥る傾向が強い。そのため渤海国史の歴史認識問題が、上記三国における現在の外交上の問題にも発展している。本研究ではこのような状況を鑑み、東アジア全体における歴史認識の共有化に微力ながらも尽力したい。

【研究の内容・方法】

本研究では、安史の乱前後における、日本・渤海・唐の相互交渉の実態をあきらかにするため、三国の宮城から出土した瓦を調査した。それと並行して、瓦の出土地である宮城の踏査もおこなった。調査をおこなった対象は以下のとおりである。

- ①渤海上京龍泉府出土瓦の調査、②渤海八連城出土瓦の調査、③平城宮東院出土瓦の調査
- ④唐長安城大明宮、華清宮出土瓦の調査、⑤渤海上京龍泉府宮殿域・京城域の踏査(黒竜江省寧安県)

東京大学文学部考古学研究室が所蔵する、渤海上京龍泉府出土瓦については、平成22年から調査を継続しているが、今回はそのうち日本の大極殿に相当する、第1宮殿から出土したセン(土ヘンに専)および、第1・第3・第4宮殿から出土した鷓尾と鷓吻を主たる調査対象とした。調査の目的は以下の二点である。まず、第1宮殿で用いられていたセンの紋様が、平城宮東院で用いられていた、軒平瓦の紋様と酷似することがあきらかになったため、その詳細を調査すること。つぎに、第1・第3・第4宮殿で用いられていた鷓尾と鷓吻と、唐華清宮で用いられていたそれらとの類似点を調査することである。次に同研究室が所蔵する、渤海八連城出土瓦については、上京龍泉府出土瓦と比較検討すべく調査をおこなった。八連城の造営は、順序からみれば上京龍泉府の後になるわけだが、ここから出土している軒丸・軒平瓦、鬼瓦、鷓尾・鷓吻等を調査することにより、渤海の京城における所用瓦の全体的な様相を把握することができた。

平城宮東院出土瓦の施釉軒丸・軒平瓦については、奈良文化財研究所所蔵資料を調査した。主として、渤海上京龍泉府所用センの紋様と、東院所用軒平瓦の先後関係を検証することを目的としたが、施釉技術や焼成方法についても調査した。唐長安城大明宮、華清宮出土瓦については、陝西省歴史博物館所蔵資料を調査した。主に鷓尾・鷓吻が調査の対象であるが、ここで渤海上京龍泉府や八連城の鷓尾・鷓吻にみられる特徴が、大明宮および華清池に用いられた鷓尾・鷓吻にもみられることを確認した。

上京龍泉府については現地踏査をおこなった。この踏査の目的は、上記で調査した瓦類の出土位置を、現地で確認することであったが、それ以外に既発表の宮城平面図には表現されていない、苑池を確認することができた。

【結論・考察】

上記の調査の結果、以下のような歴史様相があきらかになった。

唐長安城出土瓦と、渤海上京龍泉府・八連城出土瓦を比較検討した結果、8世紀中頃における唐・渤海関係は、それ以前に増して緊密であったことがわかった。このことは、唐側の正史や詩文等からも窺うことができ、唐は玄宗治世下、かたや渤海は大欽茂治世下のこの時期に、両国間の交渉が盛んであったことを、考古・文献史料からあきらかにした。しかし、安史の乱勃発以降は、唐・渤海間の交流は希薄となり、考古資料からは交流の実態を確認することができなかった。いっぽう、上京龍泉府出土瓦と平城宮出土瓦を比較調査した結果、安史の乱勃発により、渤海と日本の交流は活発化していたことがあきらかになった。

以上のように本研究では、日本・渤海・唐の三国間の関係、および安史の乱が三国間の関係に与えた影響について、考古資料を中心としてあきらかにすることができた。上記三国間の交渉に関する、文献史料の絶対量が少ないことを考えれば、今後同分野の研究において、考古資料が持つ有用性を一定程度提示できたものとする。